

新潟コンピュータ専門学校

学校関係者評価報告書 (2025年度)

注記

「学校自己評価報告書」を元に3月27日(金)に学校関係者委員会(委員全員出席)を開催し、委員からの指摘事項を学校自己評価報告書に追記し「学校関係者評価報告書」に纏めたものである。

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 生徒や保護者に対して教育目標、教育方針の周知を行っているか。

2. 教育活動

- 専門業界、企業などと連携し特色ある教育活動を行っているか
- 全職員と共通認識を持って、協力し合い学生の指導を行っているか
- 学生の家庭と連絡をきめ細かく行っているか
- 保護者に対して、お便りや電話、SNS・ホームページなど、積極的に情報を伝える努力をしているか
- 学校説明会、パンフレットなどの情報提供は適切であるか
- 校内での新型コロナウイルス感染・蔓延防止策は適切に行われているか
- 省庁指定の養成校や職業実践専門課程など運営に関する法的根拠を理解して実践しているか
- 授業に先立ち、動機付けをしっかりと行っているか
- 学生が真剣に授業に取り組めるよう指導を行っているか
- 社会の動き、業界の動向を積極的に知るよう努力・吸収し、それに応じた授業を編成しているか
- 教育目標に応じたカリキュラムやシラバスを作っているか
- カリキュラムやシラバスに沿って創意・工夫された授業を行っているか
- 個々の学生の能力、適性に応じた指導をしているか
- 社会人としてのマナー教育をしているか
- 率先して挨拶を行っているか
- 学生のコミュニケーション能力の育成に向けた教育をしているか
- 学生の自立・自律を促す教育をしているか
- 学生の進路について保護者と情報の共有ができているか
- 学校行事や課外活動などを通し、学生の積極性、協調性、自主性を育てる教育をしているか
- 学生は学校生活を楽しんでいるか

3. 学修成果

- 教職員は、学生の悩み等について適切に相談に応じているか
- 教職員は、学生に進路指導、模擬面接、個別面談など就職に関する支援を適切に行っているか
- 教職員は、学生が進路決定に必要な情報を提供しているか

4. 学生支援

- 学校では専門業界や企業が求める人材を育成するための施設・設備が整っているか。
また、有効に活用されているか
- 教職員は防災に対する意識付けを学生に行い、避難経路・避難場所を熟知し、災害時にスムーズに避難誘導ができるか

評価方法

- 昨年度より、Web アンケート形式で実施。
それに伴いアンケート項目と集計方法が変更となった。

よくあてはまる	…5
ややあてはまる	…4
あまりあてはまらない…3	
全く当てはまらない	…2
わからない	…1

1. 教育理念・目標

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
生徒や保護者に対して教育目標、教育方針の周知を行っているか	4.4	4.2

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

誠 実

明 朗

進 取

【教育目標】

建学の精神

：教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。

スペシャリストの育成

：卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する。

豊かな人間形成

：社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持ったビジネスマン、ビジネスウーマンを育成する。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 専門分野の企業と連携した最新技術教育を実践している。
 - ・ 卒業後の進路選択に備えて専門分野の資格取得に対応するためのカリキュラムを整備している。
 - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
 - ・ 国際的な視野を養うため、海外研修を必修化している。(近年はアメリカ／台湾)
 - ・ 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、学生への特別授業や定期的に職員の勉強会や特別講演会を実施している。最近では AI、セキュリティ、VR、Vtuber、5G に力を入れている。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。
- 保護者には新入生保護者見学会および保護者就職説明会、そして定期的な保護者相談会を実施し、学校活動の周知や学生状況の情報交換を行っている。
(※昨年度と今年度は新入生保護者見学会および保護者就職説明会は Youtube 配信形式とした。保護者相談会は Zoom でのオンライン形式または電話で実施している。)

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

コロナ禍の保護者とのコミュニケーション方法の具体例。

2. 教育活動

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
専門業界、企業などと連携し特色ある教育活動を行っているか	4.7	4.7
全職員と共通認識を持って、協力し合い学生の指導を行っているか	4.5	4.2
学生の家庭と連絡をきめ細かく行っているか	4.3	4.2
保護者に対して、お便りや電話、SNS・ホームページなど、積極的に情報を伝える努力をしているか	4.4	4.5
学校説明会、パンフレットなどの情報提供は適切であるか	4.5	4.5
校内での新型コロナウイルス感染・蔓延防止策は適切に行われているか	4.8	4.8
省庁指定の養成校や職業実践専門課程など運営に関する法的根拠を理解して実践しているか	4.5	4.6
授業に先立ち、動機付けをしっかりと行っているか	4.3	4.6
学生が真剣に授業に取り組めるよう指導を行っているか	4.5	4.8
社会の動き、業界の動向を積極的に知るよう努力・吸収し、それに応じた授業を編成しているか	4.6	4.3
教育目標に応じたカリキュラムやシラバスを作っているか	4.4	4.6
カリキュラムやシラバスに沿って創意・工夫された授業を行っているか	4.4	4.1
個々の学生の能力、適性に応じた指導をしているか	4.4	4.6
社会人としてのマナー教育をしているか	4.6	4.5
率先して挨拶を行っているか	4.8	4.9
学生のコミュニケーション能力の育成に向けた教育をしているか	4.2	4.8
学生の自立・自律を促す教育をしているか	4.2	4.7
学生の進路について保護者と情報の共有ができているか	4.5	4.4
学校行事や課外活動などを通し、学生の積極性、協調性、自主性を育てる教育をしているか	3.9	4.5
学生は学校生活を楽しんでいるか	3.9	4.0

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
(※昨年度は後期1回のみ実施であったが、今年度は通常通り年2回実施した。)
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。

3. 学生支援

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
教職員は、学生の悩み等について適切に相談に応じているか	4.6	4.6
教職員は、学生に進路指導、模擬面接、個別面談など就職に関する支援を適切に行っているか	4.8	4.7
教職員は、学生が進路決定に必要な情報を提供しているか	4.9	4.7

(2) 現状

- 進路・就職相談について、担任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学科枠を超えた求人に対しても分野の学科長を交えた進路・就職相談を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 年2回（6月・12月）に保護者会を開催している。希望者には個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。オープンキャンパス時に保護者対象の説明会を実施している。
- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供している。一昨年度から校友会 Facebook ページを開設した。また、卒業生がスキルアップを図ることができる講座を付帯事業として情報提供している。一昨年度は文科省の委託事業として 3DCG アニメーション講座を実施。
- 今年度も厚生労働省および新潟テクノスクールの委託事業「長期人財育成コース 情報システム科」「短期人財育成コース DS Web クリエーター科1」を受託。長期は7名入校、短期はオンライン授業が認められずに中止となった。
長期人財育成コースでは今年度は5名全員が無事修了し、全員が就職も出来た。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

- ・コロナ禍での学生のメンタル面の変化と対策の具体例。

教育環境

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
学校では専門業界や企業が求める人材を育成するための施設・設備が整っている。また、有効に活用されている。	4.5	4.5
教職員は防災に対する意識付けを学生に行い、避難経路・避難場所を熟知し、災害時にスムーズに避難誘導ができる。	4.2	4.2

(2) 現状

- 本校では学生の個人 PC 制を導入し、学内外にて作品制作が出来る環境づくりを実践している。このため学内の無線 LAN 環境を整備し適切なネットワーク環境の提供に努めている。
- NSG ホールディングスグループ 100%出資の株式会社新潟人工知能研究所（代表取締役黒田達也）と連携した授業やインターンシップを実施し、実践的なデータ・サイエンスの学びの場を学生に提供できている。
- 一昨年度より校舎移転をし、新たな実習室や施設で運用できている。

System Lab … VUE 試験環境（Microsoft、ORACLE、Cisco、CompTIA、Unity）

※Unity は全国専門学校初トレーニングパートナー校

Network Security Lab … Cisco 教育提携（世界標準のネットワーク知識・技術）

新潟県警サイバーパトロールボランティア活動

中学生上級学校訪問時の実習（ゲームプログラミング体験）

Game Lab … ツインモニターで開発効率向上、デバッグ等の検証

「短期人財育成コース DS Web クリエーター科 1」でも 3 か月間使用

VR Lab … VR 専用機器多数導入（Vtuber でも活用）

Design Lab … 全台 Mac、各種タブレット導入

esports PV Lab … esports ゲームタイトルをプレビューや評価し合う場

esports スタジアム … esports タイトルの最大対戦人数（5vs5）に対応し、

最大 10 人で対戦できる esports 施設

- 新潟市・株式会社 NTT ドコモ・国立大学法人新潟大学とともに、「5G（第 5 世代移動通信システム）時代の新たな産業創出に向けた産学官の取り組み」に関する連携協定を締結。
- 今年度、NTT ドコモ 5G アンテナを校舎内に 3 か所設置（全国専門学校初）
- 今年度、ポストコロナの VTuber を活用したバーチャル企業見学開発に参加。
- 今年度、株式会社ブルボンの人気商品を擬人化した VTuber 動画制作に参加。

(3) 学校関係者委員会ご指摘事項

- ・コロナ対応学生対応、大変参考になった。
- ・学生の希望する新潟県内の就職、県内求人確保をこれからもお願いしたい。

以上